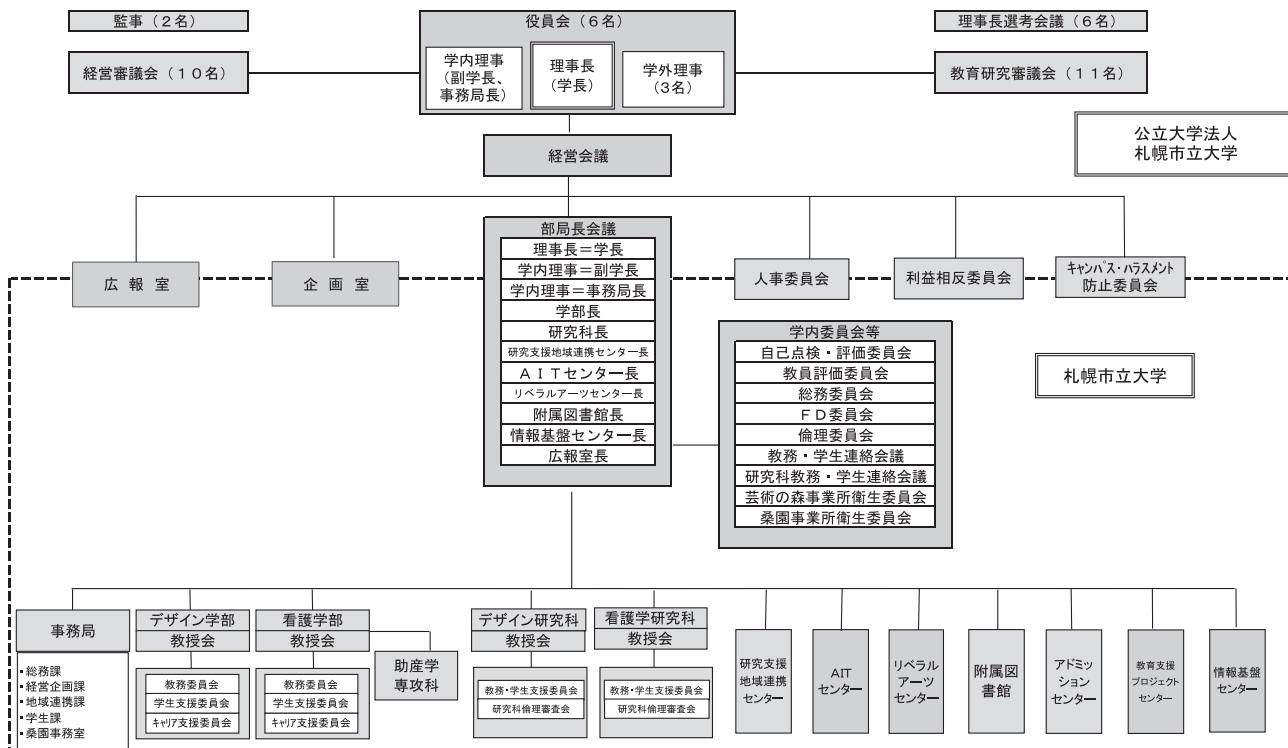




VIII 法人・学内運営の概要

1 2024年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 2023年度決算及び事業報告書について (2) 2023年度計画及び第三期中期計画(期末評価)に関する自己点検・評価結果について (3) 第四期中期計画アクションプラン2024について	(1) 名誉教授の称号授与について (2) 2023年度計画及び第三期中期計画(期末評価)に関する自己点検・評価結果について (3) 第四期中期計画アクションプラン2024について (4) 看護学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー及び令和8年度以降入学者に係る入学者選抜試験の変更について	(1) 2023年度決算及び事業報告書について
第2回	(1) 夏季一斉休業休暇の導入について	(1) 第三期中期目標期間の業務実績評価結果(案)に対する意見について	(1) 第三期中期目標期間の業務実績評価結果(案)に対する意見について
第3回	(1) 第三期中期目標期間の業務実績評価結果(案)に対する意見について	(1) 大学発ベンチャー規程について (2) 教員の再任 (3) リベラルアーツセンター設置及び関係規則等の改正・新設及びリベラルアーツセンター長の人事案について (4) 看護学部特別選抜(社会人)及び看護学部アドミッション・ポリシーの変更について (5) 助産学専攻科入学者選抜試験の変更について (6) 看護学専攻科公衆衛生看護学専攻の設置について	(1) 2025年度予算編成方針 (2) リベラルアーツセンター設置及び関係規則等の改正・新設について (3) 看護学専攻科公衆衛生看護学専攻の設置について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	(1) 2025年度予算編成方針 (2) 契約に関する規程の改正について	(1) 教員人事について (2) 札幌市立大学自己点検及び評価に係る実施要項(案)について (3) 公的研究費不正防止計画に基づく実施状況報告及び次年度計画の改正について (4) 公立大学法人札幌市立大学利益相反管理規程及び利益相反管理要領の改正について (5) 札幌市立大学大学院学則及び札幌市立大学大学院デザイン研究科履修等に関する規則の改正について (6) 札幌市立大学学則の改正について (7) 札幌市立大学履修等に関する規則の改正について (8) 札幌市立大学教授会規則及び札幌市立大学大学院研究科教授会規則の改正について (9) 看護学専攻科の設置について (10) 看護コンソーシアムに係る部門設置要項等の制定及び履修証明プログラムの開設について	(1) 2025年度(令和7年度)予算について (2) 役員賠償責任保険の保険料の法人負担について
第5回	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程等の改正案について	—	—
第6回	(1) 2025年度(令和7年度)予算について (2) 教職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程等の改正について (3) 札幌市立大学自己点検及び評価に係る実施要項(案)について (4) 公立大学法人札幌市立大学利益相反管理規程及び利益相反管理要領の改正について	—	—

3 役員会及び審議会委員名簿（2024年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	樋之津 淳子	副学長
理事（常勤）	小野 聰	事務局長
理事（非常勤）	水落 隆志	札幌商工会議所 常務理事
理事（非常勤）	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
理事（非常勤）	渡邊 多加志	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）



2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	樋之津 淳子	
理事	水落 隆志	札幌商工会議所 常務理事
理事	渡邊 多加志	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
理事・事務局長	小野 聰	
学外委員	一橋 基	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	中上 雅之	一般社団法人 北海道中小企業家同友会 専務理事
学外委員	町野 和夫	北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学 学長
学外委員	高橋 久美子	公益財団法人北海道看護協会 会長

3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学長	中島 秀之	
理事	樋之津 淳子	
理事・事務局長	小野 聰	
理事	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
デザイン学部長	椎野 亜紀夫	
看護学研究科長	貝谷 敏子	
デザイン研究科長	齊藤 雅也	
附属研究所長	石井 雅博	
附属図書館長	川村 三希子	
学外委員	前田 弘志	バナナムーン・ステュディオ代表
学外委員	石井 知子	札幌市教育委員会委員
学外委員	矢田 春義	札幌市立高等学校・特別支援学校長会 会長

4 経営会議

2024年度は11回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。



5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月3日	なし
第2回	5月9日	(1) 危機管理基本マニュアル及び風水害・台風・土砂災害対応マニュアルの改訂について
第3回	6月5日	(1) 2023年度計画及び第三期中期計画（期末評価）に関する自己点検・評価結果について (2) 第四期中期計画アクションプラン2024について (3) 看護学研究科博士前期課程のアドミッション・ポリシー及び入学者選抜試験の変更について (4) 札幌市立大学発ベンチャーの認定について (5) 2023年度決算について
第4回	7月3日	(1) 大学による公益的事業の推進事業補助金公募要領（案）について (2) 公衆衛生看護学専攻科（仮称）の正式名称・定員等について (3) 情報セキュリティインシデント対応手順について
第5回	7月24日	(1) 第三期中期目標期間の業務実績報告に関するヒアリング回答（案）について
第6回	8月21日	(1) 第三期中期目標期間の業務実績評価結果（案）に対する意見の有無について
第7回	9月9日	(1) 助産学専攻科入学者選抜試験の変更について (2) 看護学部特別選抜（社会人）及びアドミッション・ポリシーの変更について (3) 大学発ベンチャー規程について
第8回	9月20日	(1) 第三期中期目標期間の業務実績に関する評価結果について
第9回	10月2日	なし
第10回	11月6日	なし
第11回	12月4日	(1) 教授会規則及び研究科教授会規則の改正について
第12回	1月9日	(1) 履修等に関する規則の改正
第13回	2月5日	(1) 20周年記念事業方針(案) (2) 自己点検・評価実施要項及び記載要領について【認証評価関係】 (3) 中期計画自己点検・評価シート2024記載要領について【法人評価関係】 (4) 札幌市東区との地域防災力向上を目指した地域住民協働研究・還元事業に関する協定 (5) 利益相反管理規程及び利益相反管理要領の改正
第14回	3月3日	(1) 公立大学法人札幌市立大学利益相反管理規程及び利益相反管理要領の改正について
第15回	3月14日	(1) 2023年度計画及び第三期中期計画（期末評価）に関する自己点検・評価結果について (2) 第四期中期計画アクションプラン2024について (3) 看護学研究科博士前期課程のアドミッション・ポリシー及び入学者選抜試験の変更について (4) 札幌市立大学発ベンチャーの認定について

6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関すること等について企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2024年度の会議の開催数は11回であった。

主な活動として、将来構想策定に向けた検討、開学20周年記念事業に係る検討、リベラルアーツセンター設置に向けた検討を行った。



7 広報室

広報室は、第四期中期計画始動に伴い、「第四期中期計画・広報戦略」を策定し、これに基づく広報活動を推進した。2024年度は12回の会議を開催した。

定期的な活動として、2024年度版大学案内パンフレットの発行及び2025年度版大学案内パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイト及びSNSの管理・更新を行った。また、地下鉄さっぽろ駅コンコース電飾サインボードや地下鉄車内広告（まど上MINI）への広告掲出、WEB広告、学生広報委員会による広報誌SCUZINEの発行などを行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2024年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2024年度に臨時教授会1回を含む13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

なお、本教授会において、各学内委員会及び学部委員会からの報告も行った。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2024年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2024年度に臨時教授会3回を含む17回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告もを行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 研究支援地域連携センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・产学連携部門、国際交流部門の2セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、产学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

＜公開講座＞

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした29コース46コマの講座を、延べ1,341名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として延べ38名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活（ちいき）ゼミナール」を開催。YouTubeで配信し、述べ570名が視聴した。



<地域・产学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりサステナフェア」「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会を開催するなど、更なるネットワークづくりを図った。

<国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記のとおり推進した。

「学生の国際化」

台湾の台中科技大学とのオンライン交流会を実施した。看護学部学生8名、教員8名が参加し、各国の医療について発表を行うなど有益な交流が図られた。

日台デザイン合同ワークショップが、札幌大谷大学で開催され、本学デザイン学部学生4名ならびに教員2名が参加した。台湾の雲林科技大学、華梵大学及び台中科技大学が参加し、有益な交流が図られた。

デザイン学部8名と教員2名でインドネシアのバンドン工科大学を訪問し、「SCU×ITB国際交流デザインワークショップ」を実施した。

中国の承德医学院との短期プログラム受入事業を実施し、承德医学院から学部生2名、大学院生3名、教員1名を受け入れた。

デザイン学部学生6名と教員1名が、アメリカ・ポートランド市にあるPacific Northwest College of Art (PNCA)、ウィラメット大学を訪問し、事前に用意したテーマに基づいてプレゼンテーションとディスカッションを行った。PNCAの学生と交流を深め、ポートランド市内でフィールドワークを実施した。

提携校ではないが、オーストラリアのクイーンズランド大学等の学生とオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生2名との交流を行った。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

「提携校との交流の活性化」

台中科技大学との学生交流協定に基づき、特別聴講生1名を受け入れた。

フィンランドのラップランド大学との学生交流協定に基づき、交換留学生1名を派遣した。

「海外とのネットワーク化」

デザイン学部が、インドネシアのバンドン工科大学芸術デザイン学部と部局間学術交流協定（覚書）を締結した。

<知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」（1回）に参加し、知的財産戦略に関する情報交換等を行った。

<研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究7件、共同研究13件の受入れを行ったほか、学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 A I Tセンター

AITセンターでは、AIやIT（情報技術）を活用し、地域の課題解決や行政の効率化を目指している。

2024年度の主な活動として、共同研究4件を受け入れ研究に取り組んだ他、市立高校への出張講義や学外講演の実施、公式ウェブサイトにおいて札幌市中心部の人流データの定期配信等を行った。

11 附属図書館

2024年度は全9回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館サービス、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、除却、等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第18巻」を2024年9月に発行した。また、第19巻発行に向けて、投稿論文の募集を受け付けた。

12 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2024年度に9回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会及び高校訪問等を企画・実施した。

13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

14 情報基盤センター

2024年度、情報基盤センターでは10回の会議を行った。情報セキュリティポリシーの啓発活動として、情報セキュリティに関するFD研修会の実施及び情報セキュリティに関する自己点検を行った。

その他の活動としては、学内のDX推進に向けて他大学から講師を招聘し、Microsoft365を用いた内製開発ハンズオンを実施した。また、大学ICT推進協議会への参加、基幹ネットワークシステムの更新を行った。基幹ネットワークシステムの更新においては、多要素認証機能を備えた新認証システムを導入した。



15 リベラルアーツセンター

リベラルアーツセンターは、本学におけるリベラルアーツ教育を体系的に調査・研究し、より効果的な教育の実践に繋げることを目的に、2024年11月に設置された。2024年度の会議の開催回数は5回であり、主な活動は以下のとおり。

- ・リベラルアーツ教育を考えるための新しい視座を得ることを目的として、文化人類学の分析視覚を学ぶFD研修会を実施した。
- ・本学におけるリベラルアーツ教育をイメージすることを目的としたSCUリベラルアーツ茶話会を2回実施し、学内教員の意見交換を行った。
- ・リベラルアーツ教育に資する内容とするため、連携科目や学際教育科目の内容検討・提案を行った。

16 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や中期計画及び年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2024年度は9回開催した。

2024年度の主な活動として、2023年度計画及び第三期中期計画の実績報告書（案）の作成や第四期中期計画アクションプラン2024について半期の取組状況の進捗管理を行ったほか、学校教育法第109条第1項に基づく自己点検・評価の在り方を検討した。

2) 教員評価委員会

2024年度は委員会を8回開催した。各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行ったほか、教員評価の勤勉手当への反映手法について検討を行った。評価結果については、2024年度末に任期満了を迎える教員の再任審査の資料として活用した。

3) 総務委員会

2024年度は委員会を11回（メール会議5回を含む）開催した。昨年に引き続き、学内の防災訓練関係、学生を対象とした安否確認訓練、夏季及び冬季の節電対策等について審議した。

4) FD委員会

FD委員会は、2024年度に6回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。

5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2024年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計13回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るため、2020年度から新様式、新審査フローを導入した。

年間の審査申請総数は60件あり、1回当たり平均4.61件の審査を実施した。

審査結果は「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」、「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客觀性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。



2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2024年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

2件の利益相反自己申告書に基づき審議し、いずれも「問題なし」と判定した。

7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2024年度に10回開催し、学際教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2024年度に4回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項、院生研究支援費に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



17 構成員名簿（2024年4月1日時点）

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 小野 聰	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 貝谷 敏子 石井 雅博 川村 三希子 大渕 一博 高橋 尚人 卯野木 健 小野 聰	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 研究支援地域連携センター長 附属図書館長 情報基盤センター長 AITセンター長 広報室長 事務局長
	企画室	◎中島 秀之 樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 丸山 洋平 貝谷 敏子 小野 聰	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 デザイン学部准教授 看護学研究科長 事務局長
	広報室	◎卯野木 健 伊藤 健世 小林 重人 金子 晋也 藤沢 礼央 樹田 聰志 鬼塚 美鈴 工藤 京子 小野 聰	広報室長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 貝谷 敏子 高橋 尚人 小野 聰	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 AITセンター長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 貝谷 敏子 小野 聰	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	利益相反委員会	◎中島 秀之 樋之津 淳子 小野 聰	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	研究支援地域連携センター	◎石井 雅博 山田 良 並木 翔太郎 福田 大年 古俣 寛隆 松永 康佑 坪内 健 奈良間 美保 檜山 明子 本田 光 岡 園代 武富 貴久子 近藤 圭子 高橋 嗣仁	研究支援地域連携センター長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長補佐
	図書館	◎川村 三希子 松井 美穂 片山 めぐみ 金 秀敬 小宮 加容子 牧野 夏子 中平 紗貴子 渋谷 友紀 高橋 嗣仁	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部特任講師 看護学部助教 事務局地域連携課長補佐
	教育支援プロジェクトセンター	◎樋之津 淳子 松野 千代美 須藤 陽子	副学長 兼 看護学部長 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	アドミッションセンター	樋之津 淳子 ◎椎野 亜紀夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史 横溝 賢 御手洗 洋藏 金子 晋也 丸山 洋平 貝谷 敏子 荒木 奈緒 工藤 京子 鬼塚 美鈴 本庄 猛 福原 啓祐	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学研究科長 助産学専攻科長 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長補佐 事務局桑園担当課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	情報基盤センター	高橋 奈美 矢野 祐美子 ◎大渕 一博 吉田 彩乃 北館 倫之	看護学部准教授 看護学部講師 情報基盤センター長 デザイン学部助教 総務課長
	AITセンター	◎高橋 尚人 山田 信博 村松 真澄	AITセンター長 デザイン学部准教授 看護学部准教授
学内委員会 常置委員会	自己点検・評価委員会	樋之津 淳子 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 柿山 浩一郎 ◎石井 雅博 貝谷 敏子 川村 三希子 小野 聰	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 研究支援地域連携センター長 看護学研究科長 附属図書館長 事務局長
	教員評価委員会	樋之津 淳子 ◎椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 貝谷 敏子 菊地 ひろみ 高橋 尚人 小野 聰	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 看護学部教授 AITセンター長 事務局長
	総務委員会	松井 美穂 片山 めぐみ 大渕 一博 菅原 美樹 石引 かずみ 西川 めぐみ ◎小野 聰	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局長
	FD委員会	◎細谷 多聞 小宮 加容子 金 秀敬 高橋 奈美 牧田 靖子 田仲 里江 本庄 猛 福原 啓祐	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局学生課長補佐 事務局桑園担当課長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	◎石井 雅博 川村 三希子 細谷 多聞 森 朋子 矢久保 空遙 牧野 夏子 三戸部 純子 栗原 知己 高橋 嗣仁	研究支援地域連携センター長 附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長補佐
		檜山 明子 加藤 依子 伊東 健太郎 武富 貴久子	看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師
連絡調整会議	学部間	樋之津 淳子 ◎椎野 亜紀夫 柿山 浩一郎 三谷 篤史 丸山 洋平 卯野木 健 荒木 奈緒 本庄 猛 福原 啓祐	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 広報室長 助産学専攻科長 事務局学生課長補佐 事務局桑園担当課長
		◎齊藤 雅也 藤木 淳 貝谷 敏子 川村 三希子 本庄 猛 福原 啓祐	デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学研究科長 附属図書館長 事務局学生課長補佐 事務局桑園担当課長
衛生委員会	研究科間	吉田 彩乃 ◎須藤 陽子 山田 しおり 若林 さゆり	デザイン学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 事務局総務課庶務係員
		市戸 優人 吉田 実和 ◎須藤 陽子 松本 佳代	看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	教務委員会	◎三 谷 篤 史 古 俣 寛 隆 金 秀 敬 御 手 洗 洋 蔵 大 渕 一 博 須 之 内 元 洋 松 永 康 佑	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		◎柿 山 浩 一 郎 福 田 大 年 大 島 卓 石 田 勝 也 坪 内 健 矢 久 保 空 遥 吉 田 彩 乃	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教 デザイン学部助教
		◎西 川 忠 伊 藤 健 世 森 朋 子 山 田 信 博 横 溝 賢 藤 沢 礼 央	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師
学部委員会	教務委員会	◎卯 野 木 健 奈 良 間 美 穂 高 橋 奈 美 原 井 美 佳 本 田 光 中 平 紗 貴 子 岡 園 代 三 戸 部 純 子 矢 野 祐 美 子 田 仲 里 江 吉 田 実 和 澤 口 宙 人 平 山 憲 吾 高 橋 葉 子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部特任講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教 看護学部特任助教 看護学部助教 看護学部助手
		◎荒 木 奈 緒 檜 山 明 子 村 松 真 澄 加 藤 依 子 武 富 貴 久 子 渋 谷 友 紀 西 川 め ぐ み 尾 立 斗 志 世	助産学専攻科長 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
	学生支援委員会		



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	看護学部	◎松野 千代美 菊地 ひろみ 菅原 美樹 守村 洋 石引 かずみ 牧田 靖子 伊東 健太郎 近藤 圭子 栗原 知己 久保田 祥子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助教
研究科委員会	デザイン研究科	◎藤木 淳 松井 美穂 大島 卓 山田 信博 小林 重人	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授
		◎小宮 加容子 並木 翔太郎 須藤 陽子	デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
研究科委員会	看護学研究科	◎川村 三希子 原井 美佳 守村 洋 市戸 優人	附属図書館長 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部助教
		◎菊地 ひろみ 松野 千代美 村松 真澄 牧野 夏子 須藤 陽子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等



18 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要（学内研修会）

(単位：名)

全学FD	研修会名	参加者数
7月17日	より良い論文を育むための査読の心得	33
7月17日	本学の情報セキュリティポリシーについて	129
7月31日	SCUのリベラルアーツ教育とリベラルアーツセンター設置に向けた方針	48
8月1日	2024年度渡航前危機管理オリエンテーション	42
8月7日	科研費獲得ランチョンセミナー 科研費獲得の事例～デザイン分野～	43
8月7日	科研費獲得ランチョンセミナー 科研費獲得の事例～看護分野～	43
8月20日	2024年度札幌市立大学研究交流会	53
9月18日	報道につながるプレスリリースの書き方	57
11月21日	全学ミニFD「授業における著作物利用について」	31
2月14日	ハラスマント防止研修	116
2月19日	ポジティブメンタルヘルス	75
2月21日	SCUが目指す正解のない未来を生き抜くための智慧とは、学習とは	33
3月13日	Microsoft Copilotを使ってみよう	34

(単位：名)

デザイン学部・研究科FD	研修会名	参加者数
1月15日	シラバス作成の基本	36
3月21日	デザイン学部での合理的配慮に関する情報公開と対応方針	34

(単位：名)

看護学部・研究科FD	研修会名	参加者数
3月6日	コミュニケーション教員における模擬患者の役割	55



SD活動 年間活動概要

(単位：名)

日付	研修名	形態	受講者数
通年	障害者差別解消法に関する研修	札幌市立大学	34
2024年4月1日	新採用向けシステム説明会	札幌市立大学	2
4月11日	採用者レク（総務、経営企画、地域連携、学生）	札幌市立大学	2
4月15日	採用者レク（桑園、AITセンター）	札幌市立大学	2
4月15日	公立大学に関する基礎研修	学外	5
6月7日	公立大学協会担当者研修会	学外	1
6月7日	フォーマットを活用した英語メールライティング（基礎）	学外	1
7月1日～8月14日	URA研修（JST）	学外	1
7月10日	地域で選ばれる大学になるための広報活動	学外	1
8月8日	香川大学ハンズオンセミナー	学外	20
9月10日	アサーティブコミュニケーション研修	学外	1
9月27日	初歩から学べるIRのためのデータ分析入門	学外	1
10月7日	大学職員のための教育法令入門—大学設置基準を中心に—	学外	3
10月9日	部下・後輩育成のための基礎セミナー	学外	2
10月11日	ロジカルシンキング研修	学外	1
10月18日	大学職員のための学生支援力強化講座	学外	2
10月22日	50代活動（いそかつ）研修～これからのワークスタイルを考える	学外	1
10月28日	図解による業務手順の見える化セミナー～わかりやすい業務手順を作成するために	学外	2
11月12日	障害のある学生への合理的配慮と修学支援	学外	1
11月18日	高等教育政策の動向を大学業務へ活かす～機会を的確に捉えるために～	学外	1
11月25日	30代向けキャリアデザイン研修～主体的かつ戦略的にキャリアを考える	学外	1
11月29日	これで安心！基礎からわかる年末調整事務～定額減税制度への対応済～	学外	1
11月15日	改正障害者差別解消法に係る説明会	学外	1
12月3日	大学運営の改善点を自分で見つける！課題設定の基礎—IRにおけるリサーチクエスチョンの立て方—	学外	1
12月6日	ポジティブなこころの特性を理解するセミナー～自分・他者・社会への理解を深める～	学外	1
12月6日	講演「2050年の仕事と大学」（北海道FD・SD協議会）	学外	1
2025年2月14日 ～3月21日	ハラスメント防止研修	札幌市立大学	116